なぜなぜ分析と現場5M管理の融合! 多角的・実践的視点で問題解決

<5M管理と組み合わせた分析手法を学び、多面的な原因究明を行う>

【LIVE配信】

- ◆日時:2025年09月05日(金) 10:30~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 - ・1名でお申込みされた場合、1名につき 46,200円(税込)
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で 55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:高崎ものづくり技術研究所 代表 濱田 金男 氏

なぜなぜ分析は、主に発生した問題の原因を探り、絞り込むためのツールとして使われています。しかし、必ずしも問題解決を図る上で有効なツールとして使われていないケースも多く、問題が市場に流出し、トラブルに発展するケースも多く見受けられます。

なぜなぜ分析は、「なぜなぜ(5回)を繰り返して原因を探る」と言われていますが、明確な手順が確立されているわけではありません。 製造工程で発生する「機械の故障」「人的ミス」「材料の不良」「作業指示の不徹底」などの5Mの要因から発生する様々な問題は、何が原因で起こるのでしょうか?何を最終的な原因(根本原因)と捉えればいいでしょうか?

本講座では、なぜなぜ分析の現状と問題点を指摘し、再発防止と水平展開を確実に実施するためのなぜなぜ分析の基本形と目的別応用手順を徹底的に解説します。

1. なぜなぜ分析の現状と問題点

- 1-1.玉石混交のなぜなぜ分析解説
- 1-2.目的を曖昧にしたなぜなぜ分析事例と問題点
- 1-3.「トヨタ式なぜなぜ5回」の目的
- 1-4.ホンダのなぜなぜ分析の目的

2. 目的別に原因を究明するなぜなぜ分析

- 2-1.なぜなぜ分析の4つの目的
- 2-2.なぜ発生したのか?物理的な因果関係を探る
- 2-3.なぜ発生したのか?不適切な行動から原因を探る
- 2-4.なぜ発生したのか?現場管理のしくみから原因を探る
- 2-5.なぜ発生したのか?工場のしくみから原因を探る

3. なぜなぜ分析フォーマット

- 3-1.ロジックツリーとフレームワーク設計
- 3-2.現場で使える分析フォーマット
- 3-3.上流~下流工程のしくみ不備分析フォーマット

4. 事例研究

事例研究1 ピッキング作業ミス

事例研究2 運転ミス

事例研究3 海外工場移管で作業指示違反

事例研究4 新幹線の台車亀裂事故

5. 演習

- (1)電子体温計のリードスイッチ不良
- (2)部品加工工程における未加工品の混入
- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。 ZOOM WEBセミナーのはじめかた(http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf)をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。 ・お申込み後、接続テスト用のURL(https://zoom.us/test)から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は郵送にて前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。

『なぜなぜ分析【WEBセミナー】』 ロライブ配信/ロアーカイブ配信 セミナー申込書(チェックしてください)

会社·大学					● セミナーの受講申込みについて	
住 所	-				ー 必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をい	
電話番号			FAX		たします。受講用URLは後日お送りいたします。 せいたします。 センナーお申込み後のキャンセルは基本的	
お名前		所属•役職		E-Mail	にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席く	
1)					ださい。	
2					お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。 ⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry	
					■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	

□Eメール



会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

株式会社R&D支援センター

□ 郵送

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階 TEL)03-5857-4811 FAX)03-5857-4812 URL)https://www.rdsc.co.jp/

⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy